

令和2年  
 仙台市議会議員 (青葉区) **ごうこ正太郎** 第1回市政報告

発行・編集：ごうこ正太郎事務所 〒981-0954 仙台市青葉区川平 3-47-21



2月より令和2年第1回定例会が始まり、本会議と3度の予算等審査特別委員会で質問・提言をいたしました。また、今回のコロナウイルスによる学校や経済への影響をできる限り最小限にするべく、事態の収束のため活動しておりますが、この間の対応も含め地域の皆様からの頂いた「これに困っている」の声を一つ一つ解決できるよう汗をかいてまいります。

プロフィール：泉ヶ丘幼稚園・中山小学校・中山中学校・宮城県工業高校卒業  
 高校卒業後工場勤務を経て東北学院大学入学、大学2年生より郡和子衆議院議員(現仙台市長)秘書・桜井充参議院議員 公設第1秘書 2019年仙台市議会議員選挙にて初当選

令和2年第1回定例会本会議の主な質問

子ども

待機児童121名に対して保育士不足で子どもを預かる制限をした人数は196名、他都市の事例もあるITを活用した事務作業軽減の補助と処遇改善を行い、保育士確保と離職防止に努めるべき。

市長

継続して保育士に働いていただくことは欠かせない視点であり、保育士の処遇改善やアプリを活用した事務の在り方についても、関係団体からの意見を伺い検討をして参りたい。

高齢者

人生100年時代を見据えて元気応援教室(要支援1の方を中心に行う介護予防運動教室)を更に活性化させ、地域の接骨院や整骨院も巻き込み行っていくべき。

担当局長

その様な手法も含めて、意欲のある専門職の方々の力を活かしながら事業の充実に努めてまいります。

など大綱3点11項目を質問

予算等審査特別委員会

経 済

- コロナウイルスの影響で経営が厳しくなった事業者への支援相談窓口 (AER 7階) を万全の体制にし、情報発信を更に行っていくべき。
- 地元企業へ仙台市が持っている外国のマーケットニーズなどを資料として広報するべき、同時にチャレンジ輸出助成金を更に広報を行い地元中小企業への海外ビジネスの応援をすべき。

健康福祉

- 新規事業である子育てに支援に係る情報発信事業は、マッピング機能など汎用性が高いものを入れた上で、地域ニーズをしっかりと調査し地域経済にも資する事業にしていくべき。

教 育

- コロナウイルスの影響でアルコール消毒液の購入が困難であり、備蓄量に不安を抱えている学校がある。卒業式までに本市で確保して配布すべき。
- 学校体育館の床にダメージが多くみられ、また避難所として使うこともあるにもかかわらず、雨漏り箇所なども多いため、改善をしていくべき。

など3度の登壇、その他市民教育委員会にて消防団の設備と団員確保についてなど、様々な提言を行う。



あなたの声から  
勉強させていただきます!!

仙台市議会議員 ごうこ正太郎  
市政広聴シート

お名前	
ご住所	
お電話番号	
お困りごと	※いつ頃から、何がどの様に、など詳しくお書きいただければ幸いです。

FAX.022-303-8832

いただいた情報をもとに調査し、  
地域の問題解決に生かしてまいります。